

佐渡市議会議員 政風会 幹事長 2016→2020

討議資料

三度のメシより
**佐渡が
好き!!!**



孫ターン!

室岡ひろし MUROOKA HIROSHI

室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会とは

『佐渡アイランド集落ツーリズム』構想の
実現を目指す政治団体です。

『佐渡アイランド 集落ツーリズム』構想

佐渡の農山漁村の生業を大切に
集落でかけがえのない時を過ごす
人と人がつながっていく世界観

意見交換会「茶話会(さわかい)」を 開催させていただいております【不定期開催】

いつも貴重なご意見・ご質問・ご提案をいただき本当に
ありがとうございます！

皆さんのお困りごとやご意見が佐渡市政の改善のタネ
となります。一人でも多くの佐渡市民の方との意見交換
に伺いたいと思います！茶話会開催のご希望があれば、
是非ともお声掛けください。平日土日、昼夜問いません
ので、どうぞよろしく願いいたします。

集落

× 多様性

観光・雇用・教育

明るい未来!!



2016年
6月定例会
一般質問

「佐渡アイランド集落
ツーリズム構想」の

実現に向けて



【質問】佐渡の農山漁村集落を巡りながら余暇を過ごす滞在型観光、農山漁村集落の生業を大切にし守り育て、生き生きと暮らせる地域づくりの仕組みとして、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を目指す。集落のチカラは佐渡のチカラ。サービス開始は数年以内に行けるとしても完成するのに50年はかかると思込んでいる。大きな構想である。佐渡市としての明確なブランドデザインを示していただきたい。

【市長】スローライフを堪能できる集落を絶対になくしてはいけないということを感じている。集落ツーリズムは、非常に面白い、素晴らしい構想だと思う。ただ、区分けをして組み立てていかねばならず、適した集落については、交流人口拡大も含めた今後の体験型のツーリズム候補地として組み立てていくことは非常に重要な課題だと思う。

【質問】一社一村運動とは、企業や大学等の団体と農山漁村が協働活動することで農山漁村地域の活性化を図る運動で、2004年に韓国で始まった取り組みである。国や県から予算を持つてくる、佐渡市の予算を確保することもさることながら、島内外の企業に協力を要請することも大変重要なことと考える。具体的には、新潟県内や首都圏企業との地域活性化包括連携協定を締結するというところである。韓国の一社一村運動のように、佐渡でもやるべきだと考える。民間企業の協力を得るには、集落と企業の



【市長】集落の存続、活性化については一社一村運動だけにこだわることなく、それぞれの集落のそれぞれの地域の特性に対して何が最適な対策かは考える必要があると思う。

2016年
9月定例会
一般質問

毎年3月10日を
「心の佐渡市民の日」(仮称)に



質問 佐渡の農山漁村の生

業を大切に、滞在型観光
時を過ごす『佐渡アイラ
ンド集落ツーリズム構想』
の実現に向けて、毎年3月
10日を「心の佐渡市民の
日」(仮称)とする条例制
定を提案する。平成29年度
中の世界遺産国内推薦獲得
への戦略の一つとしても、
佐渡市民や観光のお客様に
よる佐渡金銀山の魅力の再
発見、知識の共有、文化施
設や温泉施設の無料開放
等、郷土愛醸成の一日とし
て「お客様感謝デー」を決
行するべきと考える。

市長 かなりユニークなア
イデアで、おもしろい見方
だと思う。メモリアルデー
をつくるのは非常にいいこ
とだと思う。どの日が一番
ふさわしいのかということこ
ろから、島全体で考える必
要があると感じる。

質問 佐渡準市民制度を

「心の佐渡市民」(仮称)へ
と名称変更するべきではな
いか。企業版ふるさと納税
の活用、一社一村運動の
提案先として、首都圏佐渡
連合会のみならず佐渡準市
民の方へも大いにPRする
べきだと考える。

市長 一緒になって佐渡を
盛り上げていこうという中
では、どういう呼称が一番
ふさわしいか、イメージも
よく、PR性もあるかとい
うことを常に考え、変更す
る必要があると思う。

質問 文化財・伝統建築の
利活用策について問う。
市長 民泊も含めた特区利
用、海外から来た人にとつ
て魅力的な民家があると思
うので、真剣に考えていか
なければならぬと思う。
質問 「地域のお酒で乾
杯!条例」や、「残さず食

べよう!30・10(さんまる
いちまる)運動」について

他自治体での取組みを佐渡
でも実施するべきと考え
る。

市長 食べ残し防止及び地
産地消を促進していく中で
も良いアイデアの条例だと
思う。既に先行している自
治体の条例の流用か、佐渡
独自で考えた上でやるべき
かについて検討をする必要
があると思う。

環境対策課長 宴会の最初の
30分、最後の10分は自席で
残さず食べましょうという
「30・10運動」について
は、消費者協会との連携の
中で取り組みをしていきたく
いと考えている。



PR用コースター
見本



2016年
12月定例会
一般質問

「説明責任」と「遊び心」を
忘れない佐渡市政運営を



質問 佐渡の農山漁村の生

業を大切に、滞在型観光
でかけがえのない時を過ご
す『佐渡アイランド集落ツ
ーリズム構想』の実現に向け
て、農林水産業の再隆盛
を中心に『佐渡まるごとブ
ランド化戦略』を推進する
ことで、2060年までに
民間所得を倍増させる『サ
ドノミクス』を提案する。

市長 おもしろいアイデア
であると思う。農林水産業
×AI(人工知能)の実証
実験も国等と意見交換を続
けたい。所得向上は、がん
ばらなければいけないし、
島外へ流出する金額が増え
ないよう、産業育成に力を
入れるべきだと思う。

質問 佐渡市への移住・定
住を応援する情報誌『シマ
イル』は分かりやすく遊び
心がある。紙媒体の情報発
信のみならず、メディア

ミックスマ戦略、クロスメ
ディア戦略により『シマイ
ル』ブランドを確立、佐渡
の魅力発信に努めるべきだ
と考えるがどうか。

市長 電子メディア、紙媒
体、他媒体等による佐渡を
PRするための統一したネ
ーミング、キャッチフレー
ズは確実に必要であるし、
自治体として改善の余地は
多々あると思う。

質問 佐渡空港と大学誘致
の実現可能性について問う。
山形県鶴岡市では、庄内空
港を至近に、高度な研究機
関や関連産業を集積する鶴
岡バイオクラスターが成功。
佐渡市も県営空港2千メー
トル化を推進するならば、
大学や研究機関の誘致を一
体として考え、経済効果の算
出を行い、夢を描くというプ
ロセスが必要だと考えるが。

市長 さまざまな形で大学

の研究機関等を含めた誘致
において、佐渡は環境を提
供できると思うし、空港とは
直接関係なくとも、常にさ
まざまな大学等と連携の可
能性を探るべきだと思う。

質問 不祥事根絶のために
も『説明責任』を果たすこ
とのみならず、『遊び心』
を忘れない佐渡市政運営を
期待する。また、電話応対
等の品質向上を望むが。

市長 不祥事の再発防止対
策として、職員相互間の関係
性の構築が重要と考える。職
員の接遇やマナーの向上を図
る研修等により、市民との信
頼関係を築いていける環境を
つくりたいと考えている。



2017年
3月定例会
一般質問

佐渡市民の皆さま全員を
『佐渡アイランド集落
ツーリズム大使』に



2017年
6月定例会
一般質問

佐渡の方程式
DMO×CCR×PPK



【質問】『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』、佐渡の農山漁村の生業を大切に、集落でかけがえない時を過ごす人と人がつながついていく世界観実現にむけて、二度のメシより佐渡が好きな『心の佐渡市民』との協働として佐渡市民全員を『佐渡アイランド集落ツーリズム大使』に任命する。SNSやメール、ハガキ等により佐渡の集落の魅力をお越しいたごき、佐渡のファンになつてもらうという構想はどうか。

【伊藤副市長】 素晴らしい考え方だと思ふ。ハガキに關して言えば、佐渡市が印刷し、市民の方にご協力的にたごき、切手を貼つて出していただく方法もあると思ふ。
【質問】 佐渡市議会と執行部のタブレット導入について問う。他自治体では迅速な情報共有、ペーパーレス化による印刷コスト削減、煩雑な作業負担の軽減による職員の労務費削減が実現されている。タブレット導入による議会運営及び執行部と議会との情報共有の利便性向上について、どう考えるか。

【市長】 議会のご理解がいただければ早期にでも実現したい。役所内でも電子決済やICT化を進めていきたい。
【質問】 国仲平野の真ん中を北緯38度線が通過している。世界の文明が生まれた緯度、植生の北限・南限でもある奇跡の緯度と言えらる。北緯38度線は、島内約12カ所の道路を横切



(例)河原田本町の北緯38度線のイメージ図

【建設課長】 道路管理者としては、安全性確保の上、公益的な目的であれば協議することでも可能性はなくはないと考える。
【質問】 三浦市政のビジョンは何か。政治スタンスは、思い描いた理想を実現する理想の現実化なのか、現実の諸問題を肅々と解決する現実の理想化なのかを問う。
【市長】 今の佐渡にあるものを魅力化、見える化することを観光・産業等全てにおいて推進することが重要と考える。現実の理想化により佐渡を良くしていきたい。

【質問】 佐渡の農山漁村の生業を大切に、集落でかけがえない時を過ごす人と人がつながついていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を目指す。そこで、佐渡の明るい未来をつくる方程式、DMO×CCR×PPKについて問う。DMOとは旅行商品の地産地消を推進する組織、CCRとは高齢者が元気に輝き続ける村づくり、PPKとは亡くなる直前まで元気なピンピッコロ。つまり、観光地域づくりに關わりながら元気な高齢者として日々の生活を営み、地域に貢献していただくことでピンピッコロの最



期を迎えることができれば、その人にとつても幸せな人生だったと思えるような世界が実現できるのではないかと考えるが。
【市長】 この方程式は、非常に関連性は大きい。高齢者が長年培ってきた知識、経験、技能を生かし、地域の三員として社会参画していただくことで地域に大きな活力を保てる。DMOでの観光商品づくりについては、二次産業も含めてこの島の中に埋もれているものは全て資源であると考えてる。
【質問】 数々のセミナーを受講したが、今ある人的、物質的な資源を磨き、光らせ、活用するべきであるということや、それを仰せの方が多く、佐渡の魅力は知れば知るほど深みを増してくるので、集落の村歩きを楽しむさどんば等でも三資産の魅力を伝える

る好機として、併せて伝統的な建築に泊まる伝泊などの取り組みと掛け算することで、その日はその集落を堪能するという仕組みづくりができる。これは、DMOの目指す観光地域づくりそのものと考えてるが。
【観光振興課長】 地域を観光資源と捉え、地域の人にプレーヤーになつていただくことで実現できるため、全くそのとおりである。
【質問】 健康推進教室×温泉施設利活用の可能性について問う。健康推進教室の開催を温泉施設で行うことで適度な運動を行い、終了後温泉に入浴していただくことができる。汗を流し、親睦も深まることで心も体も健康になると考えるが。
【市民福祉部長】 研究結果も出ており、今後も積極的に活用していきたい。

2017年
9月定例会
一般質問

三資産プロモーション× 芸術祭'18の実現を



質問 佐渡の農山漁村の生

業を大切にし、集落でかけがえない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を目指す。そこで、三資産プロモーション×さどの島銀河芸術祭2018の実現について問う。世界遺産登録を目指す佐渡金銀山、日本で最初に登録された佐渡の世界農業遺産（ジラス）、日本ジオパークに登録された佐渡ジオパークという三資産の活用を行うべきと考える。三資産プロモーションと芸術祭とを掛け合わせることで佐渡の魅力を堪能する芸術のツーリズムをつくり上げ、ひいては佐渡の集落を堪能する仕組みづくりができるかと考えるがどうか。

市長 佐渡の三資産は、都

市部ではお金を出してでも真似のできないのが特色であり、それぞれ関連し合っていることから、オール佐渡を体験できることにつながると考える。

質問 総務省が主導する地域運営組織（RMO）の構築について問う。佐渡の地域運営組織を23の小学校区単位に細分化し、運営するべきではないかと考える。

市長 必要性的には承認している。ただし、設置単位は小学校区にこだわらず佐渡に適した体制づくりを進めたいと考えている。

市長 両地域では、大規模な芸術祭を1〜3か月程度の期間にわたり開催しており、佐渡では音楽と島民の日常を体験できるような国際イベントとしてアース・セレブレーションを行って

いる。連携が図れる可能性を新潟県内の芸術祭を実施している担当課と意見交換を始めた。

市長 両地域では、大規模な芸術祭を1〜3か月程度の期間にわたり開催しており、佐渡では音楽と島民の日常を体験できるような国際イベントとしてアース・セレブレーションを行って



2018年度 三芸術祭(案)の連携イメージ

質問 総務省が主導する地域運営組織（RMO）の構築について問う。佐渡の地域運営組織を23の小学校区単位に細分化し、運営するべきではないかと考える。

市長 必要性的には承認している。ただし、設置単位は小学校区にこだわらず佐渡に適した体制づくりを進めたいと考えている。

市長 必要性的には承認している。ただし、設置単位は小学校区にこだわらず佐渡に適した体制づくりを進めたいと考えている。

市長 必要性的には承認している。ただし、設置単位は小学校区にこだわらず佐渡に適した体制づくりを進めたいと考えている。

市長 必要性的には承認している。ただし、設置単位は小学校区にこだわらず佐渡に適した体制づくりを進めたいと考えている。

2017年
12月定例会
一般質問

PDCAサイクルで 見える化と改善を



質問 佐渡の農山漁村の生

業を大切にし、集落でかけがえない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を目指す。首長たるもの、シンブルかつ明確なビジョンを常に言葉で発信し続け、市民全員と世界観を共有するという、とてつもなく大変かつ重要な仕事をする必要があると考えるが。

市長 最上位ビジョンを一言でいえば『佐渡の活性化』である。市民の方との情報共有はまだ不足している

ので、より一層分かりやすい説明、見える化に努めて参りたい。

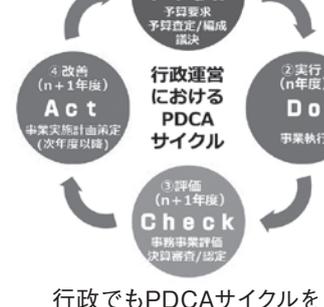
質問 決算審査特別委員

として昨年度の決算審査を行った。各施策について費用対効果を問うという趣旨であるが、定性分析と比べ

市長 最少の経費で最大の効果を得られるよう『PDCAサイクル』を回し、改善を積み重ね、正確な分析による検証が重要。定量分析、視覚化を積極的

に取り入れ、改善に努めて参りたい。

質問 コミュニティスクール（学校運営協議会制度）のビジョンについて問う。



行政でもPDCAサイクルを

2018年
3月定例会
一般質問

①自助 ②共助 ③公助の
優先順位を大切に



【質問】 佐渡の農山漁村の生

業を大切にし、集落でかけがえない時を過ごす人と人がつながつていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を目指す。7・24水害と半年後の1・24寒波の経験により治山治水の大切さ、難しさを再認識した1年であった。災害等の有事の際における自助・共助・公助のあり方について問う。

【市長】 激甚災害となった50年に一度の豪雨による総被害額は60億円を超える規模で、国県と連携しながら早期の復旧を目指す。また漏水修理の受付件数は、4718件であった。再発防止に向けて、凍結への注意喚起をチラシ、緊急防災無線等により行い、生活弱者へは自主防災組織や集落長等と連携を図れるよう、検討

を続けていく。災害発生時

には地域住民が自発的に活動することが自らの生命を守る上で極めて重要なので、市としても自主防災組織への支援や地域防災リーダーの育成を今後も行っていきたい。また、災害に強い安全・安心のまちづくりを推進する上で、災害情報の収集及び伝達をスムーズに行う体制の整備や要配慮者への安全確保の体制の整備、関係機関との協力体制の構築などは行政が主体的に推進していく必要があると考えている。なお、湧水位置図や災害時等の非常時における湧水等利用の留意点について、広報などでの周知を予定している。

【質問】 新しい佐渡市奨学金制度のあり方について問う。
【市長】 佐渡市奨学金条例の

改正に当たっては、ひと

わり大きく成長した若者が一人でも多く佐渡にUターンして就業し、結婚、そして子育てと将来にわたり佐渡の活性化に寄与していただくことを最大の目的に制度設計させていきたい。

【質問】 地域づくりのあり方について部の枠をも超えた『果敢に課間連携』という考え方が必要と考えるが。
【市長】 地域が大きな活力を保つ上で、高齢者が長年培ってきた知識、経験などを生かして社会参画をしていただくことが非常に重要。高齢者の社会参画に向け、努力を続ける。課と課の連携をこれまでになかった部分まで踏み込んだ意見交換等が行えるように部制を導入した。部を超えた連携についても当然必要であると考えている。

2018年
6月定例会
一般質問

食と旅行商品と
エネルギーの地産地消推進を



【質問】 佐渡の農山漁村の生

業を大切にし、集落でかけがえない時を過ごす人と人がつながつていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を目指す。食と旅行商品とエネルギーの地産地消推進について問う。平成26年の島内総生産額が約3400億円、そして年間約1000億円ものお金が島外へと流れ出ているのが現状である。そこで、①食②旅行商品③エネルギーの地産率を上げ、それぞれ100億円ずつ年間合計300億円規模の島外流出を防げば、島内年間450億円規模（佐渡市の当初予算額並み）の経済波及効果が見込めると思うがどうか。

【市長】 食については、佐渡産農林水産物の使用を増やすことで経済の島内循環を

高めていきたい。旅行商品

については、観光業を総合的な産業と考えることができ、入込み客数を増加させるか、1人当たりの消費額を増加することが重要な課題である。エネルギーについては、太陽光だけでなく、佐渡のものを最大限に活用し、自前のエネルギーをつくり出す努力は絶対必要だ。

【質問】 食と旅行商品とエネルギーの地産地消を重ね合わせる『佐渡エコアイランド集落ツーリズム』が実現できる。レンタカー等の電気自動車（EV）で佐渡を巡り、集落の人に会う旅。宿に駐車している間に自然エネルギーで充電し、港へと戻るエコな旅を提案するがどうか。
【観光振興課長】 エコな島ということが前面に出ることは島のイメージづくりにもつ

ながることから有効だと考

える。
【質問】 県内自治体との連携『佐渡は越後のなれ』という観光戦略を打ち、新潟県、新潟市、長岡市、上越市等の佐渡汽船就航地の自治体連携をより強化し、佐渡観光交流機構の専門性も活用しながら、まずは新潟県内に対して強い連携体制を構築すべきと考えるがどうか。
【市長】 観光振興は佐渡の経済の活性化において大きなウエートを占めており、人口減少対策としても基本目標の一つに掲げている。これからも新潟県や新潟市、長岡市、上越市をはじめ、県内外の自治体と連携した取り組みを進めたい。

2018年
9月定例会
一般質問

①汗 ②知恵 ③金を出すの
優先順位を大切に



【質問】 佐渡の農山漁村の生

業を大切にし、集落でかけ

がえない時を過ごす人と

人とがつながっていく世界

観、『佐渡アイランド集落

ツーリズム構想』の実現を

私は目指している。松下幸

之助の『まず汗を出せ、汗

の中から知恵を出せ、それ

が出来ない者は去れ』、ま

た、エジソンの『天才は1%

のひらめきと99%の汗であ

る』の言葉の通り、まずは

汗を出す。次に知恵を出す。

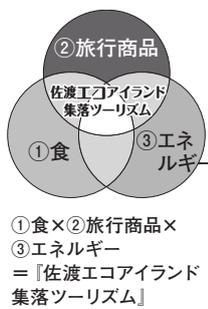
最後に金を出す。イコール

予算をつける。という優先

順位を大切にすべきと考

えるがどうか。

【市長】 市職員は汗を出し、
知恵を絞り、事業化に結び



①食×②旅行商品×
③エネルギー
＝『佐渡エコアイランド
集落ツーリズム』

つけるというプロセスが重
要であると考えている。

【質問】 両津夷Ⅱ昭和レト

ロ、両津湊Ⅱ江戸レトロの

街並みとしてハードとソフ

ト両面から整備して、船待

ちの1時間をも楽しめる観

光地域づくりを推進すべき

と考えるがどうか。

【市長】 両津地区については

佐渡の玄関口という視点が

欠かせないと考える。

【伊藤副市長】 欠航の際、観光

客は両津で過ごす傾向が大

変強く出ている。町並みを

整備して観光に活用し、ま

ち歩きをするということは、

玄関口ならではの使い方だ

と思う。

【質問】 農業と発電事業を同

時に行うことにより、食と

エネルギーを地産地消する

古民家再生の宿や民泊事

業者などに、*V2Hを導入

※V2Hは電気自動車等に蓄え
た電気を家で使う等の仕組み

し、観光からモデルケース
として始めることで、市民

へ波及することができると

ではないかと考えるがどう

か。

【市長】 V2Hの普及促進に

向けて、宿泊施設等におけ

る国の補助制度を活用した

モデル事業なども含め、調

査研究を続けて参りたい。

【質問】 佐渡市まち・ひと・

しごと創生総合戦略につい

て、平成27から31年度まで

の5年間の現状での振り返

りについて問う。

【市長】 安定した雇用の創

出、観光、交流の促進、島

全体での若者応援、島の安

全、安心の確保を基本目標

として掲げ、取り組んでい

る。今後も引き続き雇用の

創出や移住、定住等の施策

を進めて参りたい。

※V2Hは電気自動車等に蓄え
た電気を家で使う等の仕組み

2018年
12月定例会
一般質問

持続可能な環境の
島づくりへ向けて



【質問】 佐渡の農山漁村の生

業を大切にし、集落でかけ

がえない時を過ごす人と

人とがつながっていく世界

観、『佐渡アイランド集落

ツーリズム構想』の実現を

私は目指している。集落の

防災・減災対策をどう考え

るか。

【市長】 現在、ハザードマッ

プ改訂作業を行っている。

来年度、集落長や地域防災

リーダーに地域の危険箇所

や避難場所などの説明会を

行い、地域の防災力を高め

たい。また、事前対応型の

治山治水事業について、重

要水防箇所を早期改修に重

点を置いて要望を続ける。

【質問】 行政視察で秋田県大

館市立城西小学校の校長よ

りお話を伺った。ふるさと

教育とキャリア教育とを融

合させて、『ふるさとキャ

リア教育』として地域と

学校とが連携。コミュニ

ティースクールからスクー

ルコミュニティへのシフ

トが起こっているとのこ

と。佐渡市はどう考えるか。

【教育長】 学校と地域の連携

が進めば地域や保護者の活

動を融合させることが可能

となり、学校と地域の双方

にとって有益な取り組みが

広がるものと期待する。

【質問】 高齢者が元気に輝き

続けるムラづくりについ

て、現両津病院跡地および

旧両尾小学校の活用をす

べきと考えるがどうか。

【市長】 現両津病院跡地利用

については今後検討したい。

旧両尾小学校については、

両津地区の介護予防活動の

拠点とするべく、現在は太

鼓を中心とした介護予防教

室、世代間交流事業などを

実施中である。

【質問】 環境省の一部を佐渡

へ誘致と考えるがどうか。

【市長】 地方創生の視点とし

て好循環につながるること

から、佐渡市としても経済波

及効果などのメリットが想

定されるため、今後の国の

動向を注視していきたい。

【質問】 持続可能な開発目標

『SDGs』の取り組みに

ついて『Sado』(佐渡)

Gs』と捉えてはどうか。

【市長】 行政・企業・市民な

ど全ての関係者が統合的に

取り組むべきものであり、

佐渡市将来ビジョンなどに

反映させていきたい。

【質問】 佐渡市当初予算45

1億円を世帯年収451万

円に例えて、市民の皆さま

に佐渡市政へ興味を持って

いただくべきと考えるが。

【市長】 市の財政状況をご理

解いただけると、市報さ

ど12月号では市の財政状況

の説明を掲載する。

2019年
3月定例会
一般質問

佐渡市若者未来 応援基金(仮称)の設立を



【質問】 佐渡の農山漁村の生業を大切にし、集落でかけがえない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を私は目指している。両津は佐渡の玄関口。1月2日、大火に見舞われた両津夷本町商店街の復興について佐渡市としてどう考えるか。

【市長】 商店街一带の活性化について、商工会や商店街協同組合等、地域との意見交換をこれからも継続して進めていく。両津港から入る人、出る人が地域で滞在し、楽しめるまちづくりを進めていきたいと考える。

【質問】 新穂潟上地域については、温泉、トキ交流会館、周辺地域を一体的運営とし、入浴・食事・宿泊・村歩きが体験できる『トキとの共生を目指す滞在型観光地域づくり』のエリアになると考えるがどうか。

【市長】 人とトキが共生する地域として、新穂潟上地域の活性化や利便性の向上について、それぞれの運営事業者同士が連携することで今後の一体的な運営も実現されるものと考えている。

【質問】 トキガイド、佐渡金銀山ガイド、ジオパークガイド養成講座への受講を促進し、関係人口増大へとつなげるべきと考えるか。

【市長】 ガイドの皆様は人生経験の豊かな方も多く、地域の魅力発信のみならず、コミュニケーションを通して観光客の思い出しに強く残ることでリピーターや口コミ宣伝となり、関係人口の増加につながるものと考えられる。現在、会員数が1万6000人の『さどまる倶楽部』を2020年度末まで

に5万人としたい。

【質問】 佐渡市奨学金制度と佐渡市医療技術者奨学金資金貸与制度とを統合し、佐渡市若者未来応援基金(仮称)の設立をすることで奨学金の見える化を行うべきと考える。将来は佐渡に戻って働こうと勉学に励む若者のために寄附をしたい、ふるさと納税をしたという機運を今ままで以上に高めることができるかと考える。佐渡市子ども未来応援基金との連動による切れ目のない子育て支援が基金としても実現できると考えるか。

【市長】 ふるさと納税の中に『島の未来を拓く人づくり応援コース』を創った。新たな基金創設の提案であるが現行の奨学金制度及び医療技術者奨学金貸与制度、それぞれの検証を行う必要があると考えている。

に5万人としたい。



2019年
6月定例会
一般質問

『前向きの島づくり』 という考え方を



【質問】 佐渡の農山漁村の生業を大切にし、集落でかけがえない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を私は目指している。最上位計画である佐渡市将来ビジョン改定の際、『前向きの島づくり』という考え方をそもそも論として明文化する必要性を感じる。佐渡市民の皆様とともに、心持ちからプラス思考に変えるという発想。カラ元気からはまる本当の元気があるのではないか。私の考えたタイトル・ロゴはいかがか。

【市長】 何事もポジティブにプラス思考で捉える姿勢は同じ思い。タイトル表現、

ロゴマーク(室岡制作)

ロゴ等について一つのアイデアをいただいたと思う。義町役場に『子育て応援宣言のまち、子育てするならりやすいか、一つの材料として承らせていただく。

【質問】 持続可能な環境の島づくりについて問う。去る2月、新潟県と東北電力が包括連携を締結。花角英世新潟県知事は、佐渡や粟島において洋上風力や太陽光発電で100%自給する『自然エネルギーの島構想』を掲げた。県と市との連携でプロジェクトが推進していくものと考えているがどうか。

【市長】 地域の雇用や産業の創出といった地方創生につながるものと考えている。新潟県と連携・協力して、積極的に取り組んでいきたい。

行政視察で訪れた岡山県奈義町で『との垂れ幕。平成26年の合計特殊出生率が2・81。子育て世帯のうち約5割が3人以上の多子世帯である。また、兵庫県明石市では、こども総合支援条例を制定。子育て施策に明石市総予算の約2割を投入している。切れ目のない子育て支援への市長の本気度はいかがか。

【市長】 安心して結婚・妊娠・出産・子育てをしてもらえる環境整備が必要。子ども若者課を設置し、子ども目線に立った施策構築やサービス提供の仕組みづくりを進めている。今年度は幼児教育・保育の無償化が実施されるが、市として給食費も含めた全面無償化を検討している。

子育てしやすい島づくりについて問う。5月に



2019年
9月定例会
一般質問

佐渡市も SDGs未来都市への名乗りを



【質問】 佐渡の農山漁村の生業を大切に、集落でかけがえない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を私は目指している。持続可能な環境の島づくりについて問う。『前向き島づくり』を念頭に置き佐渡市も*SDGs未来都市への名乗りを挙げるべきと考える。SDGsは、くしくもS a D o G a s h i m aの頭文字となつているため、佐渡こそSDGsを推進すべきと考えるがどうか。

【市長】 佐渡市では、地方創生の目的である人口減少と地域経済の縮小の克服、まち・ひと・しごと創生と好循環の確立に向け、SDGsの理念を、次期将来ビジョンに反映させたいと考えている。SDGs未来都市

市については、応募要件や既に選定された自治体の取り組み等も研究した上で判断していきたい。

【質問】 去る6月に成立した棚田地域振興法。佐渡棚田協議会の7つの棚田を離島のモデル地域として新潟県へアピールし、棚田地域振興法の活用をすべきではないかと考えるがどうか。

【市長】 8月に棚田地域の振興に関する基本的な方針が閣議決定された。佐渡棚田協議会を中心に各棚田地域での課題を洗い出し、具体的な検討を進める予定。

【質問】 地域づくりへの地域防災マップの活用について問う。今年度、地域防災マップの作成、地域説明会14回について実施が完了した状況。地域防災力を高めるためのみならず、地域について学ぶ佐渡学の機会と

して、果敢に課間連携しながら地域防災マップを活用すべきと考えるがどうか。

【市長】 自主防災の点において、集落など地域での共助が不可欠。地域防災マップを活用し、具体的な地域の危険箇所や避難路の確認などを地域で話し合うことで共助の意識がさらに高まるものと考えている。ジオパークと連携した児童生徒への防災教育についても、有効であると考えている。小学校でも出前授業を行うことになっており、順次学校から

の申し出に対応したい。
*SDGsとは…サステナブル・デベロップメント・ゴールズの略で、世界を変革する持続可能な開発目標のこと。2015年に国連本部で日本を含む193の加盟国の合意のもとで採択された世界を変革するための17の目標と169のターゲットで構成される。

2019年
12月定例会
一般質問

佐渡の空き家3000棟を 燦然と輝かせよう



【質問】 佐渡の農山漁村の生業を大切に、集落でかけがえない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を私は目指している。集落等の空き家について問う。市内の5棟に1棟が空き家。うち、活用が可能な空き家は約3000棟ある。私は、3000棟ある佐渡の空き家を燦然と輝かせることが必要だと考える。去る10月に金井能楽堂にて認定NPO日本民家再生協会が「民家フォーラム2019 in 佐渡」として、芸能と民家を引き継ぐ」を開催。佐渡市は共催者としてどう総括しているのか。

【市長】 佐渡に点在する民家が地域の宝物となる可能性を大いに秘めていることが確認できた。民家を活用し

た成功事例を増やしたい。
【質問】 佐渡市雇用機会拡充事業補助金について空き家を活用する機運を醸成し、同補助金への申請を促進するべきではないか。

【市長】 平成29、30年度はそれぞれ17件、今年度は31件を採択。空き家を活用した事例は、3年間で9件。来年度に向け既に事前相談を開始しており、多くの方に応募、活用していただきたい。

【質問】 佐渡の世界遺産登録については、2020年に国内推薦獲得、2022年世界文化遺産登録されるのが最短のスケジュールであるが、市民の方とお話する中で、受け入れ体制の構築については不安の声の方が多い印象である。そこで、『ゴールドラッシュユアゲイン』という考え方を市民の皆さまと共有する必要がある

ると考える。江戸時代に栄華を極めた佐渡金銀山は、まさにゴールドラッシュの島。金が出たことで、ヒト・モノ・カネが佐渡に集まった。今度は、佐渡が世界文化遺産となり、もう一度佐渡の魅力が島内外へ伝えることで地域が元気になるという世界観を『ゴールドラッシュユアゲイン』とキーワード化すべきという提案だがどうか。

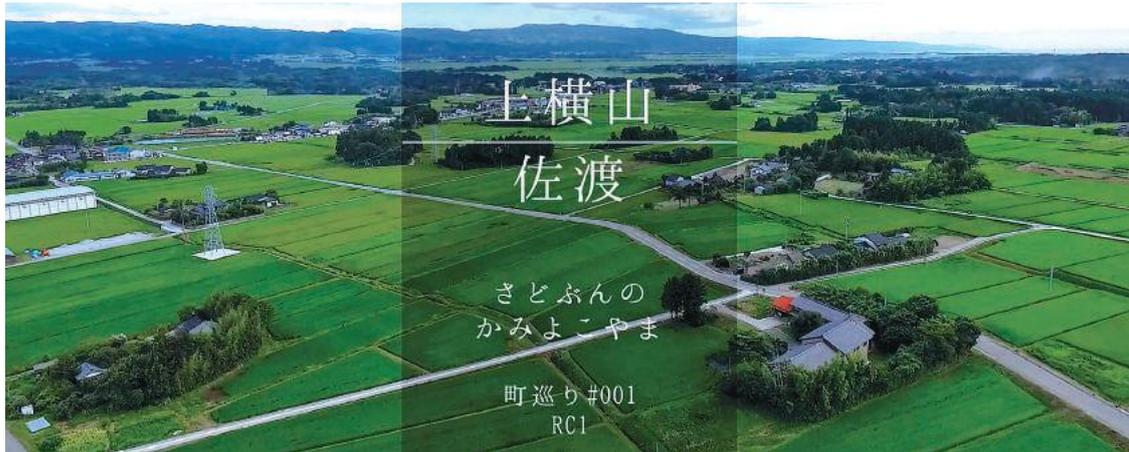
【市長】 キャッチフレーズ化については、市民との意見交換等で伺って検討したい。



民家フォーラム2019in佐渡の様子

▼『佐渡アイランド集落ツーリズム』構想とは・・・

佐渡の農山漁村の生業を大切にし、
集落でかけがえのない時を過ごす
人と人とが繋がっていく世界観



【出典】集落のプロモーションビデオのたたき台（制作：スタジオマクワンカ）

2017年9月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼集落のチカラは、佐渡のチカラ!!!



**集落のチカラは、
佐渡のチカラ!!!**

多様な集落が活き活きと輝く佐渡を実現します!!

- 1 集落ツーリズムによる雇用創出
- 2 佐渡の玄関口整備による観光振興
- 3 島内交通インフラの整備による産業振興

集落 × 多様性

観光・雇用・教育
明るい未来!!



▼佐渡の魅力 10項目 チェックリスト ⇒ 知っている:✓ 知らなかった:?

- ①日本の離島の中で最大である。（沖縄本島を除く）
- ②植生の南・北限とされる北緯38°線が島の中央を通過していることにより1700種もの植物相をもつ。
（cf. 屋久島の植物相は1370種、佐渡は長崎県と同程度の1700種）
- ③南北方向に伸びる一島二山型の地形により気候に多様性が生じ、
また時間距離（移動に要する時間と距離の関係）が複雑化する。
- ④思想犯の遠流地・佐渡金山の繁栄・北前船の来航といった、島外からの人の流入が日常化してきた歴史をもつ。
- ⑤全国の1/3にも上る32の能舞台が神社に併設されながら現存する。
- ⑥鬼太鼓・能・佐渡おけさ・文弥人形・春駒・花笠踊りといった伝統芸能が受け継がれ保存されている。
- ⑦特別天然記念物であるトキとの共生に意欲的で、生息環境改善を可能とする環境保全型農業への転換が進んでいる。
- ⑧平野部における稲作が盛んなだけでなく海・山の幸を享受できることから、およそ60万人分の食料確保が可能とされる。
- ⑨江戸・京都・西日本の影響により島内に異なる方言をもつ。
- ⑩多様な集落および建築形態がコンパクトに凝縮されている。

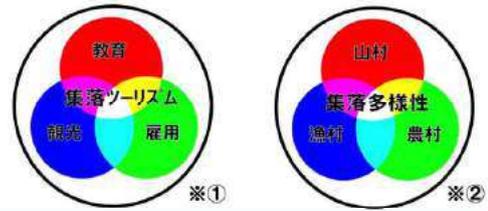
／10

2016年6月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼『佐渡アイランド集落ツーリズム』構想の実現 (ver2.0)

エコ

佐渡の集落は多様で個性豊かで素晴らしい！
活き活きと暮らせる集落づくりを実現します！



佐渡の集落を守り、輝かせる！！

限界集落も増え、待ったなしの状況です。
その解決のためには・・・

エコ

『佐渡アイランド集落ツーリズム』構想

佐渡の集落を電気自動車で巡る新しい観光。
ストーリーのある旅づくりを構築。※①

『佐渡アイランド情報化大作戦』

地域おこし協力隊の仲立ちによって、
集落の方から佐渡の小中高生、Uターン者へ
集落の魅力を教えていただく機会を創出。

ITで『佐渡の集落多様性』を世界に誇る

一人ひとりが集約した情報は多言語対応の
WEBサイトを制作し世界中に発信します。※②

佐渡の集落の守り人『佐渡人』の育成

佐渡を大切に思う心と生活できる懐のある
『佐渡人』を集落の守り人として育てます。

『集落環境・景観を守るルール』づくり

古民家再生、利活用による受入体制構築

一社一村運動、CSR、『生き方の博物館』

と旅行商品

『食とエネルギーの地産地消』を目指す！

集落内の地域教育、観光振興、雇用創出
(コミュニティスクール=みんなの学校) (生業ハローワーク)

ほぼ

『子育て¥0の島づくり』を目指す！

と関係人口

Uターン、孫ターン促進、交流人口増大

2018年9月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼次世代電池『全固体電池』等の最先端技術について

◆日本経済新聞 2018/9/4付 全固体電池コスト低減 長岡技術科学大学准教授 本間剛氏 (抜粋)

電気自動車 (EV) の次世代電池として期待される『全固体電池』の開発競争が活発だ。電解質に可燃性の液体を使う電池が一般的だが、全固体電池は発火の恐れがない。蓄電量も多い。EVに全固体電池を搭載すれば、防火などの安全設備が不要となり、スペースを有効活用できる。EVの走行距離を2倍以上に延ばすことが期待できる。

今回の電池はレアメタル (希少金属) のリチウムの代わりに、資源が豊富なナトリウムを使い、コストを低減できる。電解質には酸化物を使っており、環境負荷も小さい。家庭用の定置型蓄電池も有望だ。太陽光発電の電気を蓄え、夜間などに使う。全固体電池は低コストで長寿命も期待できる。再生可能エネルギーの利用促進にもつながる。

電気自動車をソーラーカーに。ちょっと未来の蓄電システム。

家庭で電気をためられる「蓄電」システム。
太陽光発電でつくった電気をためることで、夜間や非常時にも自家製の電気が使えます。
新しく登場したトライブリッド蓄電システム(TNB)は、自宅の電気はもちろん、
新たに電気自動車やPHVとも組み合わされるようになります。
太陽光から生まれた電気を使うことで、電気自動車はソーラーカーとして生まれ変わります。

【夜間】 自然エネルギーで蓄電された電気を活用して
照明や空調等+エコカー(レンタカー)に充電

再生された古民家宿等に
蓄電池を設置して、
太陽光・風力・水力など
集落産エネルギーで蓄電



※EV：40kWhの容量のバッテリーで約300km走行可能。また、中古車EVのバッテリーを蓄電池としても活用可能。

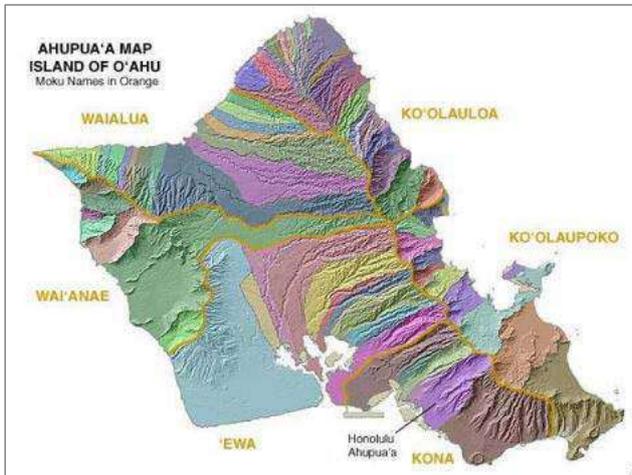
【出典】 <http://www.nichicon.co.jp/products/tribrid/tribrid.pdf>

2018年9月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

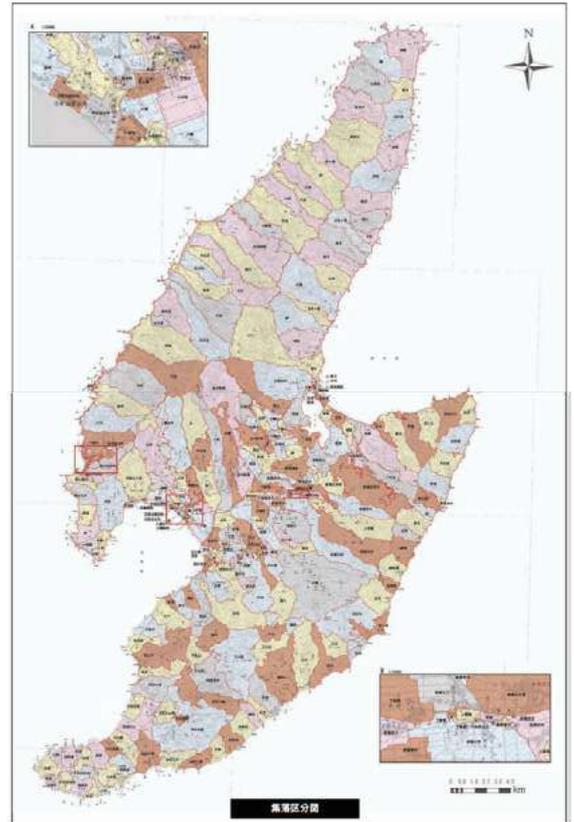
▼ 『佐渡アイランド集落ツーリズム』 構想実現のために①

◆アフプアア (AHUPUA`A) について

アフプアアは山頂から海岸までの渓谷の範囲をひとつの共同生活区域と規定し、自給自足的な経済社会が発展した。この境界線にブタの頭を模した木製偶像が備えられたことからこの概念をアフ(頭)プアア(ブタ)と呼称するようになった。アフプアアは、古代ハワイのもっとも基本的な土地利用単位であり、生活の単位であり、社会経営の単位で「きちんと閉じた」体系であった。40ヘクタール～4,000ヘクタールほどの規模。



【出典】 ウィキペディア (フリー百科事典)



【出典】 佐渡市歴史文化基本構想 佐渡市教育委員会

2016年9月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼ 『佐渡アイランド集落ツーリズム』 構想実現のために②

◆ふるさと見分けについて

2016年8月10日(水)に「ふるさと見分けて地域資源を掘り起こす」@上横山を執行しました!

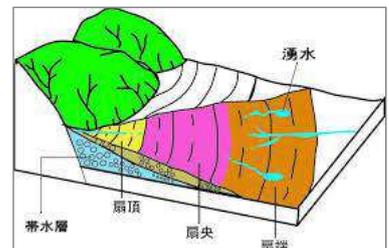
東京工業大学桑子先生、新潟大学豊田先生、集落の皆さん、メディアの方々総勢15名にて約3時間のムラ歩きとなりました。

雨になって、風になって、光になって、歩いてみよう!

様々な感覚を研ぎ澄まして地域の魅力を再発見する勉強会です。

水になったつもりで、上から流れに沿って歩いてみるというのが分かりやすいイメージです! 水源である旧吉井村の水力発電所跡地からスタートして、集落の上部分にあるファームポンド(ため池)までをメインに歩きました。時を超え、『空間の履歴』(桑子先生の言葉)に思いをさせながら、皆さんと歩き、貞心堂で最後のまとめをやりました!

- 水になって地形を見ると高い所から低い所への流れが見えてくる。
- 各集落にどうやって水を分配するかという思いについて、分水を見ることで見えることもある。
- 上横山は長江川水系の扇状地であり、上の方は水はけがよく、もともとは畑であった。
下の方は水はけが悪い場所も多く、深田となっていた部分もあった。
- 昭和44・45年に上横山では、田んぼの基盤整備が行われた。
- 地元の方は見慣れた風景であっても、外の目でみるととても素晴らしい魅力がゴロゴロ転がっている。
- 地名や古地図について調べると分かることがたくさんある。

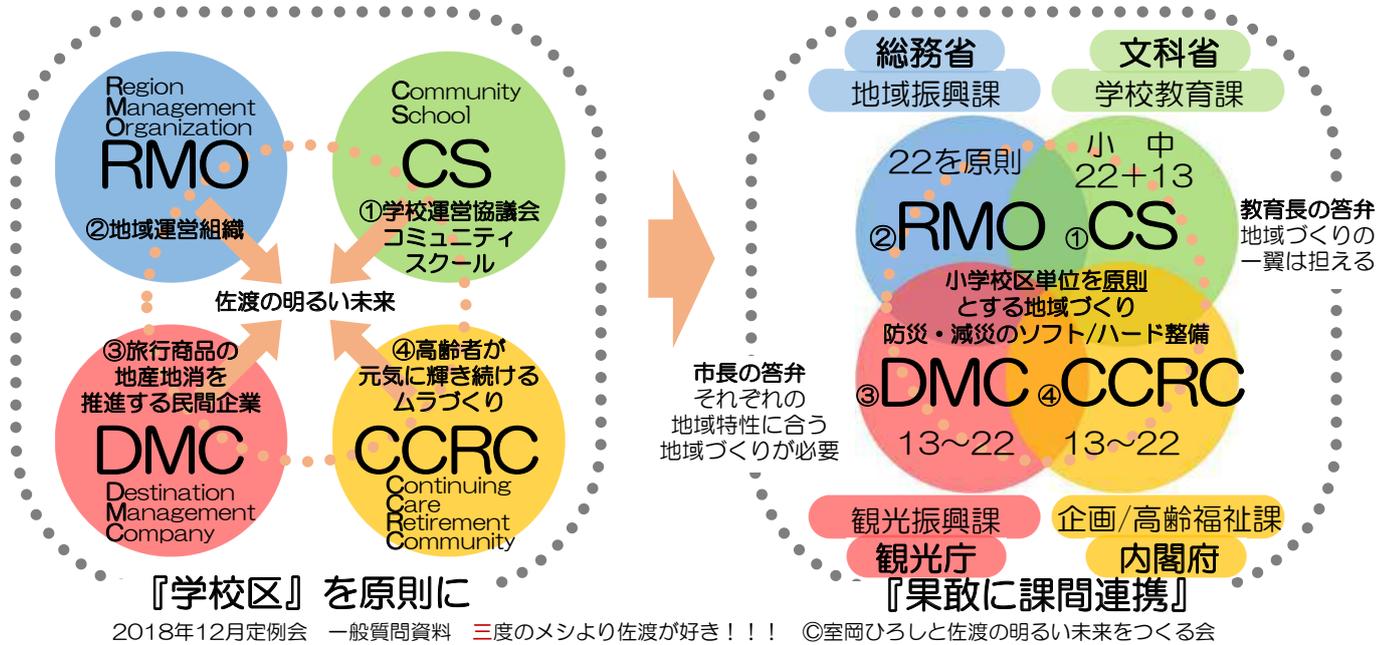
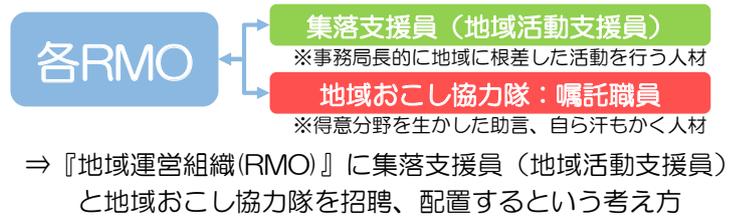


【出典】 ひむか教育用コンテンツ集

2016年9月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼小学校区単位を原則とする地域づくり①⇒②⇒③⇒④

◆佐渡市における『地域運営組織(RMO)』
 昨年度、NPO法人・かみえちご山里ファン倶楽部
 関原剛氏「地域づくり公開セミナー」(7/3)にて
 佐渡市の地域運営組織の適正な規模としては、
22の小学校区が最も近いイメージ。
 ⇒『学校区』を原則に地域づくりを進めるべき！



▼RMO (地域運営組織) ○○小学校区応援団 (仮称)

◆『小学校区』というコミュニティを大切に
 佐渡の集落での活動を永続的に残すことができないかと考えます。
 そこで、RMO (地域運営組織) ○○小学校区応援団 (仮称) を結成し、
 下記6点に取り組む提案です。※団体は、NPOや一般社団法人等を想定

- ①集落毎の字会計や各種行事案内資料の統一フォーマット化、データ化
 - 【A】小学校区内の数集落の字会計 (※集落情報は、集落毎で厳重に要管理)
 - 【B】ムラ歩き事業会計 (集落の魅力を発掘し、ムラ歩きガイドを行う等)
 - 【C】簡易宿所事業会計 (古民家を再生し、宿泊施設に活用する等)



②ムラ歩き事業⇒【B】
 佐渡アイランド集落ツーリズム構想実現のため、さどんぼ/あるかんか佐渡/ふれあいガイド等の取り組みを各小学校区でも行う。また、体験コンテンツを発掘し、集落の魅力を体験できるようにする。

③簡易宿所事業⇒【C】
 空き家利活用、古民家再生、宿泊を伴う滞在型観光を推進する。
 ※簡易宿所は、食材提供やケータリング(仕出し)はOK、その場で作られたお料理提供はNG
 ※住宅宿泊事業法(平成29年6月に成立した民泊新法)年間提供日数の上限は180日(泊)

④各地郷土博物館の利活用
 郷土博物館機能に加え、RMO事務局の拠点としても活用する。



【出典】minpaku民泊制度ポータルサイト

⑤集落産のお土産の開発・製造・販売
 島内外の好事例を参考にお土産を開発して、民間企業推進の元で製造・販売する。※販売は、②～④等で行う。

⑥○○小学校をコミュニティスクールとして、地域と連携
 学校運営協議会制度を導入し、総合学習(学校教育) & 生涯学習(社会教育)に取り組む。

▼関係人口×ローカルプロジェクトのつくり方について

◆2018年9月8日(土) @金井コミュニティセンター
『ソトコト編集長の指出一正さんと対話して考える、
関係人口×ローカルプロジェクトのつくり方』

【関係人口】とは・・・住んでいなくても地域に関わる人、応援する仲間のこと。自分のかたちでまちと関わりたいとする考え方(観光以上、移住未満)。

【関係案内所】とは・・・観光案内所ではなく、人と人の関係を案内する場所。外の人に関わってもらうためのサービスではなく、関わりたくなる雰囲気や隙間(弱点)＝『関わりしろ』をヨソモノと共有できる場所。



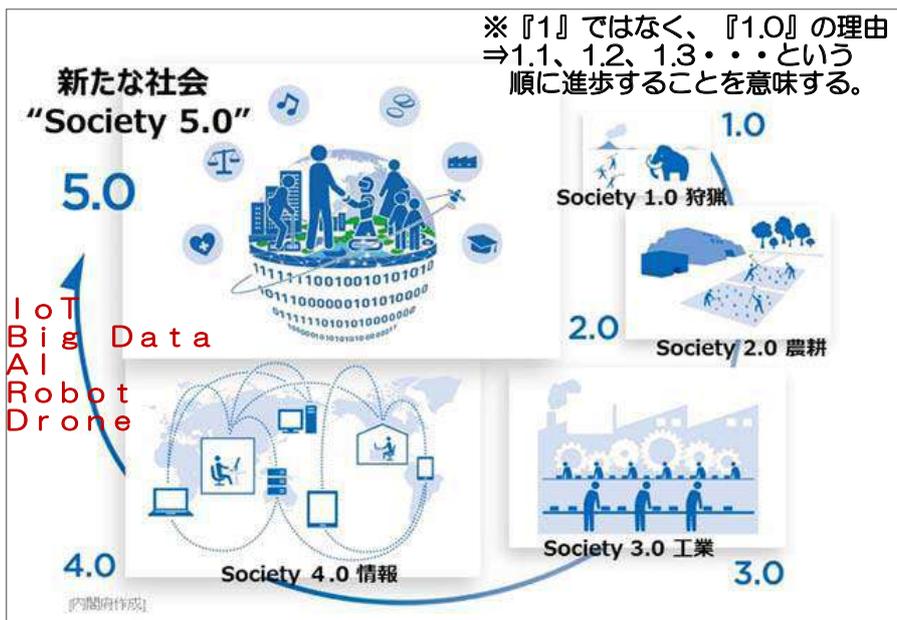
2018年9月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

【概要】

- ・イワナやタナゴや自然など、人間がつくることができないものが残されている場所こそ、豊かな地域である。
- ・カッコよい生き方とはどういうことなのか考えよ。
- ・自分たちの足元にあるもの、小さな視点を大切にせよ。
- ・関係人口は、むやみに増やせない。数にはこだわらない。
- ・地域内の人たちが面白がると外の人たちがのぞきたがる。
- ・地方創生の最重要項目として『関係人口』と『関係案内所』というキーワードが盛り込まれた。
- ・かつてはお金でモノを買うことで自己承認感を得ていた。2000年代は観光や資格取得など体験を買うことで自己承認感を得ていた。今は、お金を使って『関係』を買う時代になってきた。
- ・『私が発見した』という喜び、他人事⇒自分事になることが大切。
- ・ハレの日よりもケの日を大切に。玄関よりも勝手口から入るイメージ。『あたりまえの日常』を楽しむ。
- ・『地域を編集する』という視点を大切に。
- ・関係人口×ローカルプロジェクトのソーシャルな視点
 1. 関係案内所
 2. 未来をつくっている手応え
 3. 『自分ごと』として楽しい

▼Society (ソサイエティ=社会) 5.0とは・・・

◆超スマート社会、2045年にAIが人類の知性を超える! ? = 『特異点』



【出典】内閣府ホーム > 内閣府の政策 > 科学技術政策 > Society 5.0

▼究極の哲学：人は何のために生きるのか？

人は何のために学ぶのか？人は何のために働くのか？人類はどこから来たのか？この世は誰がつくったのか？神は存在するのか？ヒマが生まれることで、人は問を立てて考える必然性が今よりも強くなるのではないか？

▼人類の進化のプロセス

- ①狩猟社会
- ②農耕社会
- ③工業社会
- ④情報社会
- ⑤〇〇社会⇒超スマート社会

▼地方創生に追い風ではないか？

AI(人工知能)やスマートロボットの活躍による地方で営む一次産業の人材不足解消。首都圏でのオフィスワーカーの雇用喪失。都市⇒地方への人口の流動がおり、地方に光が落ちるのではないかと推測している。

▼一次産業～二次産業～三次産業

一次産業ほど、AIがサポート役に？
三次産業ほど、AIが取って代わる？



【出典】エン転職『二次産業って?』

2018年9月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼SDGsの取り組み⇒SaDoGs(佐渡ジーズ)へ

◆SDGsとは・・・

持続可能な開発目標のことで、Sustainable Development Goalsの略。2015年に国連本部で日本を含む193の加盟国の合意の下で採択された「世界を変革するための17の目標と169のターゲット」のこと。持続可能性を地球規模で考えた時に、非常に重要な目標であり、一部民間企業や日本青年会議所等も力をいれてSDGsの実現に取り組もうとしている状況にある。



【出典】【1分で分かる】世界を変革するための17の目標「SDGs」

SDGs
a o a s
h i m a

◆佐渡市の取り組み・・・

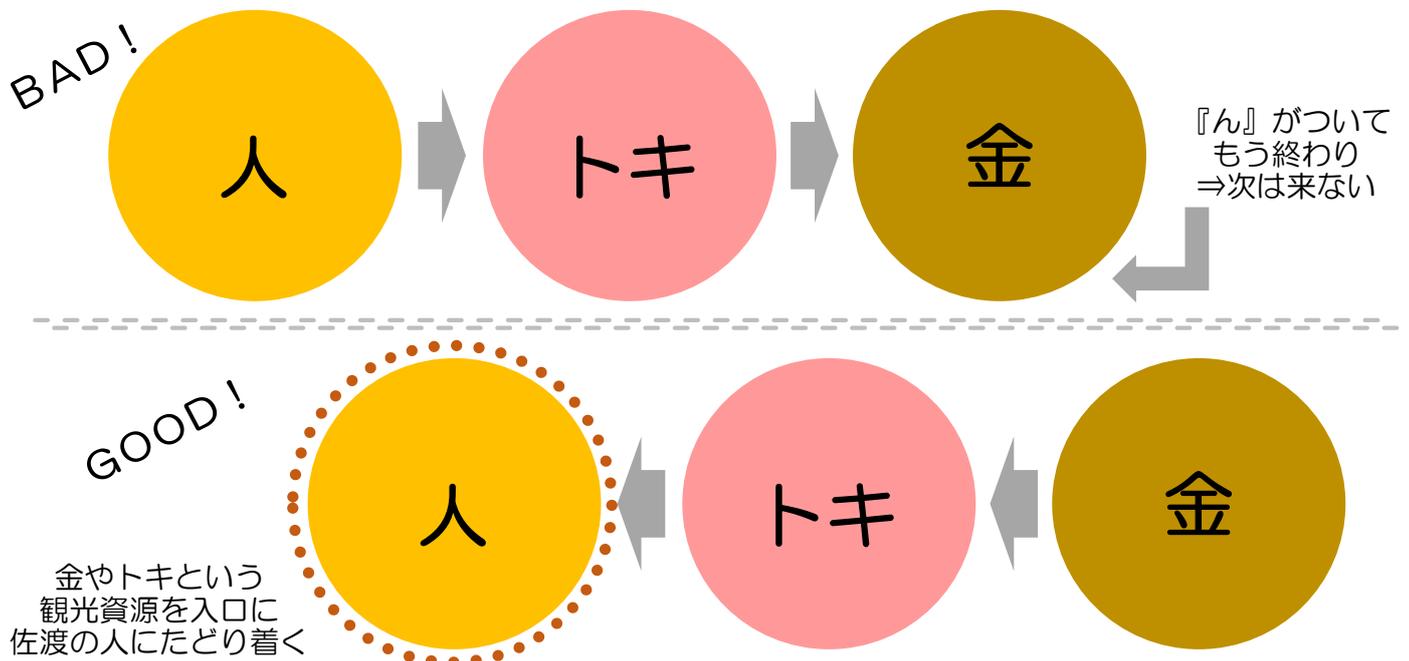
トキとの共生を目指す環境共生型農業をはじめとする生物多様性の推進、レジ袋の有料化、消費者協会が取り組む3010運動、クールビズやゴーヤカーテンをはじめとするクールチョイスなど、既に佐渡市として取り組んでいるSDGsはたくさんある。
⇒まずは情報の整理、佐渡市将来ビジョンへの掲載をするべき！

2018年12月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼ヒト⇒トキ⇒キン：しりとりによる佐渡らしさの伝え方

◆人に逢う観光 ⇄ 観光地域づくり

大正大学地域創生学部の学生の地域実習で、学生と意見交換をする機会を得た。佐渡の地域資源は、色々あるけれど、人やトキや金山ではないか。気付いたことは、しりとりで佐渡らしさを伝えることができる。しかし、ヒト⇒トキ⇒キンと続くと、しりとりは終わってしまう。観光地域づくりの中で逆の流れをつくることできれば、リピーターの増加、関係人口の創出、ひいては観光振興になるのではないかと考えてたどり着いた。



▼3,000棟ある佐渡の空き家を燦然(さんぜん)と輝かす！

10/12(sat) **民家再生**

民家フォーラム 2019 in 佐渡

いとしげな島 芸能と民家を引き継ぐ

日本民家再生協会では、毎年「民家フォーラム」を開催しております。第22回(10)本年は例年より開催します。期密千原、日蓮上人の御開帳など、中津までにご案内の御座います。お集まりの地は、民家文化、和入文化、農村文化、食文化と多様な文化が現れます。住居や寺社、農家住宅、能入りの御座います。パワースポット、宮入の御座います。島のなかに何となくの御座います。景観を御座います。建築家や文化継承、空き家活用について御座います。シンポジウムを行います。魅力ある佐渡へぜひ御座います。

シンポジウム

【開催費】1,000円
※会場費は無料、当日「会場費サポート」サービス(無料)をご利用ください。
【場】金井能楽堂(新潟県佐和田市金井町1-1)

【開催時間】13:00~17:00(予定)
【入場料】無料 ※会場費のみ
【場】金井能楽堂(新潟県佐和田市金井町1-1)

毎年地元の方々が参加を希望されている佐和田能楽堂と、「ANA 第18 佐和田能楽堂」の協賛で、日本民家再生協会による「民家再生フォーラム」を開催いたします。ご来場ください。シンポジウムと合わせて御座います。日本民家再生協会では、建築家や文化継承、空き家活用について御座います。シンポジウムを行います。魅力ある佐渡へぜひ御座います。

日本民家再生協会
〒952-0001 新潟県佐和田市金井町1-1
TEL:0257-22-1111 FAX:0257-22-1112
http://www.minka.or.jp



全国大会の佐渡開催を足掛け4年で実現させました!

空き家利活用の機運を醸成!



【出典】特定非営利活動法人日本民家再生協会主催 第22回「民家フォーラム2019」@金井能楽堂 <http://www.minka.or.jp/news/2019/10/10121013-222019-fd0f.html>
2020年2月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼さどの島銀河芸術祭の拡大解釈の可能性について

◆芸術(アート)と自然(ネイチャー)は対義語である。

⇒アート(新たに用意する数十カ所)のみならず、今ある佐渡の資産を有効に活用する! ∴拡大解釈する!



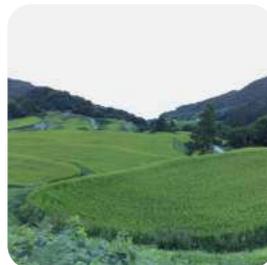
インスタレーション& 芸能など元々ある芸術



3つの構成資産 浮遊選鉱場、笹川集落etc



環境共生型農業 水田/棚田とトキ



全島10のジオスポット 奇岩や断層や自然風景



2017年9月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼『前向きの島づくり』という考え方



◆佐渡のコンセプト：『前向きの島づくり』
 コップに半分水が入っているとき、『もう半分しかない』と嘆くよりも『まだ半分もあるじゃないか』と捉えよう！人口減少に端を発するあらゆる衰退をプラス思考で捉え、トップランナーとなることで、この県、この国を引っ張って行こう！

【①大目標】佐渡市民の佐渡市民による
 佐渡市民のための地域づくり

↓そのためには

【②中目標】佐渡アイランド集落ツーリズム構想
 佐渡の農山漁村の生業を大切に、集落でかけがえのない時を過ごす人と人がつながっていく世界観

↓現在進行中

【③小目標】小学校区単位を原則とする
 地域づくりを全島へ

松ヶ崎集落での古民家再生の宿等を中心とした
 地域づくりの横展開



2019年12月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼リーダーシップ（まえから／うしろから）について

◆『民衆を導く自由の女神』型リーダーシップと『羊飼い』型リーダーシップ

カリスマ的な存在がリーダーシップを発揮し、大きな旗印のもとに命令型で多くのメンバーを連れていく、というやり方では、もはやうまくいかなくなってきました。

【出典】カリスマリーダーが先導する時代は終わった。これから求められる「新しいリーダーシップ」のあり方とは？ | ライフハッカー
 羊飼い型（水平型）リーダーシップは、さまざまな才能のある多様な人の個性を尊重し、自由に組みんでもらいながらも、後ろから何となく同じ方向に追っていくようなまとめ方がいいといわれます。

【出典】一流リーダーは先頭に立たない「羊飼い型」 | プレジデントオンライン



【出典】フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』
 ウジェーヌ・ドラクロワ作『民衆を導く自由の女神』
 1830年に起きたフランス7月革命を主題としている。



【出典】ひつじnews <http://www.hitsuzi.jp/2012/06/2041sheep.html>
 ジュリアン・デュブレ作『羊飼い』
 働く農民の姿を画題にした画家。1883年のサロン(官展)に出品したもの。

2019年12月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼大佐渡⇔小佐渡が、もしもあと10倍離れていたら・・・

◆佐渡はスーパーラッキーな島◎
大佐渡⇔国仲平野⇔小佐渡の幅はそれぞれ約10km。もしも大佐渡⇔小佐渡が100kmであったら国仲平野はないかもしれない。

リトアニア/ロシアにまたがる全長約98kmの世界最長の砂州で2000年に世界文化遺産登録。『クルシュー砂州』



【出典】 Wikipedia



【出典】 Google Map



日本列島は、プレートによってつくられた大きなシワ。佐渡は二本のシワ。



【出典】 Google Map 3D ⇒大佐渡/小佐渡と平行に海溝が走っている。

2018年3月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼モノの見方、ヒトと接する考え方について

◆地球の表面について ⇒ 陸地：29.2%、海洋：70.8%

地球の一周：40,000km、地球の半径：6,400km、地球の表面積：5.1億km²



2017年3月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き!!! ©室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会



室岡ひろしプロフィール

- 昭和 55 年 新潟市生まれ(本籍：旧両津市上横山)
平成 11 年 新潟高等学校卒業(第 107 回生)
平成 17 年 東京理科大学工学部建築学科卒業
平成 19 年 同大学院修士課程修了(建築学修士) 同年、東京の IT ベンチャー企業へ就職
平成 23 年 佐渡のコールセンター(HCC(株))へ転籍
(佐渡への本社移転を後押しし、約 30 名の雇用を創出。平成 28 年 6 月退職)
平成 28 年 4 月に佐渡市議会議員として初当選



皆さんと共に佐渡に生き、佐渡を守り続けたい。
そのために真摯に皆さんのご意見を伺い、
佐渡に新たな息吹を吹き込む力になりたい。
佐渡に生き、佐渡を守るため、私に力をください。
どうぞよろしく申し上げます。

室岡啓史



室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

皆さんのお困りごとやご意見が佐渡市政の改善のタネとなります。
一人でも多くの佐渡市民の方との意見交換に伺いたく思います！
平日土日、昼夜問いませんので、どうぞよろしくお願ひいたします。

〒952-0024 新潟県佐渡市上横山273

☎ 090-9335-9519

✉ mro1118@gmail.com

🏠 <http://hiroshimurooka.com>

👤 [Twitter/Facebook/Instagram](#) ▶ 室岡ひろし

【official site】



hiroshi-murooka Instagram

mro1118

